

助動詞き・けり

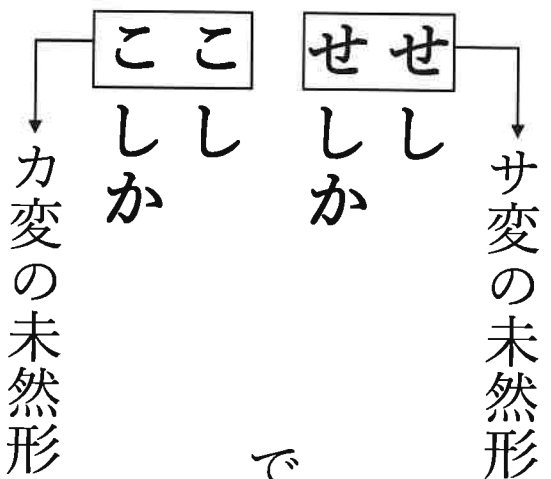
き…(体験過去) ↓直接自分が体験した事実を
回想する時に使われる

けり…(過去伝聞・過去詠嘆) ↓伝え聞く過去、
つまり他人から聞いた、間接体験の
事実を回想する時に使われる

けり	き
(けら)	せ
○	○
けり	き
ける	し
けれ	しか
○	○
過去伝聞(したとかいう) 過去詠嘆(たなあ)	体験過去(た)

※過去の助動詞「き」の活用は絶対暗記！

。「き」は連用形に接続するが、カ変・サ変は未然形に接続する場合のほうが圧倒的に多い。



で覚えておこう！

※ 会話・和歌の中に使われた「けり」は詠嘆

↓「なりけり」の形をとることが多い

○ (注)

過去の助動詞「き」の未然形「せ」は

「せばまし」の反実仮想の時だけにしか使われない

○ 「けら」は奈良時代(上代)にしか見られないので覚えなくていい

○ 「けらし」は「ける」＋「らし」がちぢまったもの